

創業70周年の企業紹介



代表取締役社長 西岡 慶子氏

(株)光機械製作所

創業 ● 1946年 5月

所在地 ● 津市一身田中野8-1

電話番号 ● 059-227-5511

代表者 ● 取締役社長 西岡慶子

事業内容 ● 工作機械、切削工具の製造
販売

●貴社の経営理念をお聞かせ下さい。

基本理念「Be Professional! プロ意識に徹する。プロ意識とは常に積極果敢に自らの仕事を極めようと努力するものであり、それは自己完成への道である。」

弊社では、仕事をする上で、まず必要なのはプロとしてのマインドセットだと考えています。各人がそれぞれの持ち場で専門性を磨き、ハイパーフォーマンにつなげていくことで、弊社がめざす企業像である「なるほど!」と言われるアイデアと技術と感性で、世界の工場に向けて、生産技術を高める製品とサービスを提供す

る。そして、それを通じて、1)社員の幸せ、2)お客様のよろこび、3)社会への貢献を実現する」を形にしていきたいと思います。

●貴社の事業内容についてお聞かせ下さい。

光機械製作所は大きく分けて工作機械と切削工具の二つの部門で構成されています。

工作機械部門は、研削盤を中心とする工作機械の設計から製造までを一貫して行なっています。工作機械はマザーマシーンと呼ばれ、あらゆる部品を生み出す、正に、ものづくりの母なる機械で、自動車のエンジン部品や航空機部品を加工するのに使用されます。また、古くなった機械のオーバーホール、更に機械の頭脳であるCPUを最新型にすることにより精度や加工スピードを激的に向上させるレトロフィットと呼ばれる改造にも対応します。対象となる機械は、自社製にとどまらず、設計図面がないような欧米機械にも及びます。

切削工具部門では、1)鋼ドリルボディ、2)超硬インサートの製造を行っており、これらに使用する生産設備は自社で開発、製造しています。両部門間の情報や技術のフィードバックが弊社のものづくり力を高める力になっています。

●特に力を入れている工作機械への取り組みについてお聞かせ下さい。

新しい技術開発として、2年前から超時短パルスによる微細レーザー加工に取り組んでいます。

また、ダイバーシティの視点を大切にして新開発したダイヤモンド工具用の研削盤につ



工作機械

いては、アジア市場での展開に力を入れております。



本社

これまでのあゆみ

- 1946 西岡芳光が三重県津市に光工作所を創業し、紡績機の製作に着手する。
- 1953 工作機械、研削盤の研究、試作に入る。
- 1958 光機械製作所と名を改め、工作機械、研削盤の市販を始める。
- 1959 株式会社光機械製作所に改組し、現在地に拡張移転する。
- 1961 中小企業庁長官より優良企業工場として表彰を受ける。
- 1974 第三工場を竣工し、情報関連機器の製造を開始する。
- 1992 特型工具の製造販売を開始する。
- 2001 西岡寅之助が取締役会長に、西岡慶子が取締役社長に就任する。
- 2002 レトロフィット事業を開始する。
- 2004 名古屋商工会議所より「モノづくりブランドNAGOYA」事業の顕彰を受ける。
- 2007 経済産業省より、「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれ、感謝状を受ける。
組立工場を増床する。太陽熱エネルギー事業に参入にする。
- 2009 三重県より「男女がいきいきと働いている企業」選考委員会奨励賞を受賞する。
津商工会議所より「優良会員企業、環境改善分野」の表彰を受ける。
三重労働局より「均等・両立推進企業表 三重労働局長優良賞」を受賞する。
- 2011 三重県環境マネジメントシステムM-EMS(第2ステップ)の認証を取得する。
- 2012 中央職業能力開発協会より「キャリア支援会長奨励賞」を受賞する。
三重労働局より「若者応援企業宣言」三重県第1号の認定を受ける。
- 2013 茨城県つくば市に「HIKARI R&D CENTER」を創設する。
航空宇宙国際戦略総合特区に認定される。
- 2014 日本生産性本部より、「エンパワーメント大賞 奨励賞」を受賞する。
経済産業大臣より「ダイバーシティ100選」の表彰を受ける。
APEC女性活躍推進企業50選に選ばれる。
中国広東省のメーカー「中国深圳藍精機」と業務提携を始める。
- 2015 「HIKARI R&D CENTER」を千葉県柏市へ移転する。